



第42回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 中学の部



審査員講評

やましたさとし

山下 聡 先生 (当番審査員)

札幌中学53名

中学生になると小学生よりも色々な経験を積み人間的にも精神的にも成長して来ます。それらの経験から表現出来る音楽の幅は広がり、とても豊かになって来ると信じます。実際に今回はとても魅力のある演奏が多かったです。

審査をして気がついた事を少し書いてみます。

【課題曲】 シンフォニアにも色々なパターンの曲があります。1番をととても自然に美しく弾いた方、15番をととても鮮やかに音楽的に弾いた方等印象に残っています。また今回初めて課題曲に出された平均律のプレリュードも転調を意識してとても美しく弾いていた方もおりました。バッハの音楽に賞味期限はありません。深く根を張った古い大木でも中に流れている水は常に新しく新鮮です。新しい感覚で更に魅力的なバッハを目指して下さい。ピアノ以外の曲を色々聴く事も大切です。

【選択曲】 1番気になった事は、作曲家の立場に立って考えてみるという事です。今回の選択曲の9曲中6曲はピアノから始まっています。何故作曲家が弱くから始めたかったのかをもう一度考えると曲の捉え方が少し変わってくるかもしれません。

ハイドン、ベートーヴェンで形式の美しさ、推進力を鮮やかに表現した演奏。ノクターン、月うさぎで感性豊かに個性を感じた演奏等とても心に残っています。

ドビュッシーではピアノより更に弱い音で勝負、プーランクでは印象的なメロディーに魅力的なハーモニー。フランス音楽には味があり、香りがあり、透明性があり優美と言う事を大切に。

我々が深く感動するのはただ鮮やかに弾くのではなく、1音1音を深く考えそれが伝わって来る演奏です。勿論指導者に教えられての事ですが、それを消化してその演奏によって我々の身体の何処かのスイッチが押されると、時に「心が洗われた」「涙が出た」等と言う言葉になるのではないのでしょうか。これは決してAIには出来ないのではないかと思います。

今回本選に行かれた方は、より多くの方の演奏を聴いて刺激を受けて下さい。また惜しくも残念だった方も常に感性を磨いて下さい。驚いたり、好奇心を持ったり、感激したりと言う感情を持つ事により自分の中の感性が磨かれそれが音楽と相対するときにとっても役立ちます。

モーツァルトが言った「夢があるから人生が輝く」と言う言葉を、若い皆様に送りたいと思います！

また他の学年にも書きましたが講評には不満や疑問も有るかもしれませんが、それらを受け止め、なぜそのような評価になったのか見方を変えて考えたり、それを受けてこの先どう勉強(指導)していくのかと言う事の参考にして欲しいと考えます。

中学の部

並びは演奏順です

第42回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



進士綾音

藤田紗英

大村花音

二口璃音

松下夏穂



青野颯太

島博美

坂本温音

内田美波

鎌口栞奈

篠田雅実

小関美陽

佐藤千夏

笹谷美陽

坂本翔一

白熊咲彩

森田結菜

呂安馨

八木田茉央



齋藤萌珂

持佛七海

坂夢叶

宇野日南子

立花唯果

田畑春樹

原田絢菜

大平萌々香

中学の部

第42回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



並びは演奏順です



濱本清麗

浪岡凜音

山田仁菜

金田灯

齊藤柊真

浅妻和花



山本明鈴

丸尾そら

松村葵葉

北村花

池田煌彗

出倉愛彩